

# 1 中期学校経営方針

## (1) 学校経営中期取組目標

### 学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、子ども一人ひとりを大切にしながら活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。
- ・自己をコントロールする力と規範意識、を身につけるとともに、自己肯定感と自己有用感を感じることができる子どもを育成します。
  - ・学ぶことの楽しさ、体験することの楽しさを実感できる授業を目指し、教師力・授業力の向上を図ります。
  - ・地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。
  - ・校舎内外の美化と安全の確保に努めます。

## (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	道徳の時間はもとより、あらゆる教育活動を通して、自他を大切に する心情や態度を育てるととも に、自他の違いを認め合える子 どもを育てる。	①子どもの実態をもとに、「かがやけみらい」「私たちの道徳」などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年間1回以上実施する。 指針1 「道徳の時間」の充実 ②縦割活動等による異学年交流や幼保小交流を通して、相手を思いやる心や自分への気付きや自信を構築する。 指針2 体験活動の充実 ③人権教育に視点を置いたテーマ等を設定してその具現化を図る。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成
担当	豊かな心の育成グループ	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・明るく素直な児童が多く、何事にも一生懸命取り組んでいる。豊かな自然環境に恵まれ、地域の協力も多く得られている。
- ・人との関わり方では他者意識が薄く、他の児童の気持ちが考えられない児童がいる。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。【視点1】
- ・道徳教育推進教師を中心に、推進体制の充実を図る。【視点1】
- ・話し合い活動を重視し、道徳の時間の指導の充実を図る。【視点1】
- ・各教科等の指導における道徳教育の指導の充実を図る。【視点1】
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「かがやけみらい」「私たちの道徳」等を積極的に活用する。【視点2】

### 指針2 体験活動の充実

- ・5・6年生がリーダーとなって行う縦割り活動を通して、自己有用感を高めるとともに、高学年のリーダー意識、達成感、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。[視点3]
- ・小学校の学びを見通した上で活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然と人に触れる学習活動を充実させる。幼保小の交流を充実させる。[視点4]
- ・日常の学級経営の中で清掃などの当番活動や主体的な係活動を充実させ、自分の役割や働くことの意義についての基盤を形成する。[視点4]

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを行うために、人権のテーマを各クラスで決め、人権週間にはその見直しを行ったり授業参観を行ったりする。また、日頃から人権教育に視点を置いた各教科・領域での授業実践、異学年交流・地域の方々とのふれあいを通しての児童の人権意識の高揚、コミュニケーション能力の伸長をめざした取組を推進する。[視点6]